

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 30日

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名:楽いく(らいく)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			療育スペース、ケアスペースに別れていて広さも適切と思う。
	2	職員の配置数は適切である	○			職員が多い日もあるが、基本マンツーマンでの支援を心掛けている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			安全性に配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			保護者様への満足度調査アンケートを行い、業務改善に繋げています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			5S活動に取り組んでいます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			定期的に職員に向けた研修会を行っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			研修参加を増やせる様に努めている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			標準化されたアセスメントツールを使用し、把握に努めている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントツールを使用し、把握に努めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			職員全員で取り組んでいる。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			固定化しないように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			ミーティングを行い、工夫している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			一人ひとりの発達に応じ、個別の課題と集団適応・社会性の課題を支援計画に入れています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			前日・当日と、支援内容・役割分担確認といつでも見直しができるようにボードに書いている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			振り返りや変化について、職員同士で共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			他事業所との連携のため、支援に関しての気付きやお子様の様子は細かく記録し、月に1度報告書としてまとめている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			6ヵ月に1度、見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			ガイドラインに沿った事業実施を基本の考え方として、支援を行っています。

関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			現時点ではまだ参画できていないが、今後は参画していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			送迎時、学校での様子を伺い情報共有に努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			保護者との情報共有の中で主治医からの指示などを明確にした上で、連絡体制をとることができるようにしています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			必要に応じて関係機関との情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			必要に応じて関係機関との情報共有を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			集いの機会に交流し、連携を図っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			今後計画している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			今後計画している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			伝えなければいけないこと、気づいたことはその都度伝えていく。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			必要に応じて対応している。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			利用開始にあたり、あらかじめ重要事項説明書と契約書を説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			随時、相談に応じています。また、必要に応じて、関係機関の協力も得ながら行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			今後検討し、対応していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			トラブルが起きた際は、迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			今後検討し、対応していく。
	35	個人情報に十分注意している	○			随時、職員間で情報の取り扱いには注意するよう確認し徹底しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			必要に応じて個別に対応し、わかりやすくお伝えできるようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			現時点ではまだできていないが、今後計画している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員間で適宜確認しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			様々な場面(不審者)を想定した訓練を実施して行く。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			職員ミーティングにて内容のすり合わせをし、適切に対応できるようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			現時点では該当者がいませんが、もし今後起きた際にはきちんと対応している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			現時点では該当者がいません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			記録をまとめておき、皆が見れるようにする。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 30日

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名:楽いく(らくいく)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			療育スペース、ケアスペースに別れていて広さも適切と思う。
	2 職員の配置数は適切である	○			職員が多い日もあるが、基本マンツーマンでの支援を心掛けている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			スタッフはどこに立っても利用者様全員が見渡せるような設備の配置を工夫している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			5S活動に取り組んでいます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			保護者様への満足度調査アンケートを行い、業務改善に繋げています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者向け評価を実施しています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			インターネット上にて公開している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			定期的に職員に向けた研修会を行っています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			研修参加を増やせれる様に努めている。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			標準化されたアセスメントツールを使用し、把握に努めている。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントツールを使用し、把握に努めている。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			定期的に子供に必要な支援について見直し設定をしている。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			計画に沿って取り組んでいる。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			職員全員で取り組んでいる。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			固定化しないように工夫している。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			一人ひとりの発達に応じ、個別の課題と集団適応・社会性の課題を支援計画に入れています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			前日・当日と、支援内容・役割分担確認といつでも見直しができるようにボードに書いている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			振り返りや変化について、職員同士で共有している。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			他事業所との連携のため、支援に関しての気付きやお子様の様子は細かく記録し、月に1度報告書としてまとめている。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			6カ月に1度、見直しを行っています。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		現時点ではまだ参画できていないが、今後は参画していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			市町村によって少し疎らだが、連携を図っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			市町村によって少し疎らだが、連携を図っている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			保護者との情報共有の中で主治医からの指示などを明確にした上で、連絡体制をとることができるようにしています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			必要に応じて関係機関との情報共有を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			必要に応じて関係機関との情報共有を行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			集いの機会に交流し、連携を図っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		今後計画している。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		今後計画している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			伝えなければいけないこと、気づいたことはその都度伝えていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		必要に応じて対応している。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			利用開始にあたり、あらかじめ重要事項説明書と契約書を説明しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			保護者さんと密に連絡を取り、支援計画の同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○		随時、相談に応じています。また、必要に応じて、関係機関の協力も得ながら行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後検討し、対応していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している		○		トラブルが起きた際は、迅速に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			今後検討し、対応していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			随時、職員間で情報の取り扱いには注意するよう確認し徹底しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○		必要に応じて個別に対応し、わかりやすくお伝えできるようにしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現時点ではまだできていないが、今後計画している。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員間で適宜確認しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		様々な場面(不審者)を想定した訓練を実施して行く。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用開始の際は保護者から必ず確認しています。また、日々の中でも最新の情報を提供してもらい、把握できるようにしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		現時点では該当者がいません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		記録をまとめておき、皆が見れるようにする。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		職員ミーティングにて内容のすり合わせをし、適切に対応できるようにしている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現時点では該当者がいませんが、もし今後起きた際にはきちんと対応している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。